

10月生活指導委員会の様子～「特別支援教育だより」より～



A小学校 特別支援教育相談係通信

# 特別支援教育だより

2005,10,26  
No.7

## 生活指導委員会での話し合い



10月24日(月)に定例の生活指導委員会が開かれました。  
各学年から、気になる児童の様子や支援の経過の報告がありました。(詳細は主任の先生から)

支援の経過の報告では、担任の先生、保護者、コーディネーター(教頭先生)、補佐役等で支援の振り返りや方向を話し合った結果(個別の指導計画)を報告しました。

学級では、この子に、今学期こんな目標で支援をしていきたい。  
そのためにこんな手立てや配慮をすることを考えている。  
個別の指導ではこんなことを目標にする。といった内容

### 【委員会の話し合いの中で】

- \*学級の中での支援は、その子だけ特別扱いでいいのだろうか。周りの子も我慢して学習していることだってある。
- \*その子の姿を、わがままや怠けからそうなっていると見なかった。その子は周りで何をしているのか、先生が何を言っているのかうまく理解できず、そして、今、何をするのか分からなくて、結局一番やりやすい行動をしてしまっていると考えた。  
そのための手立てとして1時間の見通しを持たせることであり、最後に課題を頑張ったご褒美の「読書」と考えた。その時間の課題が終わったら読書というのは、この子に限らずクラスのルールでもいいのでは。
- \*みんな同じでなくてもいい。それぞれの課題がある。違いを認め合える学級になるといい。
- \*違うことに対して子どもは敏感だよ。
- \*周りの子はよく我慢しているよね。
- \*今まで一緒にいてその子の様子を知っていて、この子はこうって承知しているんじゃない。
- \*偏見で悪いイメージを持ち続けることがある。
- \*周りの子に対する指導、大切だよ。
- \*周りの子が我慢してくれたり見守ってくれたりすることを認めて誉めてあげることが大切だよ。
- \*我慢して頑張っている子を誉めてやりたいね。
- .....
- \*子どもたちへの支援、共通理解はどのようにするの。
- \*その子にかかわる専科の先生、交換授業の先生、少人数指導の先生に支援や配慮について共通理解しておくことが大事だよ。
- \* (一番は関係者が集まればいいけど) コーディネーターが話をしていくより、担任が話をした方がいいのかな。
- \* 個別の指導計画を持って見てもらうといいよね。字になっていると伝えやすいよ。
- .....
- \*これからについてはどのようにしていったらいい?
- \*学級での配慮や支援の計画を立てた段階なので、これからかかわる先生がたで実際に支援に取り組んでいく。その中で、効果のあるなし、又は別の方法を工夫した等やりながら修正していくのでいいと思う。個別の指導計画に朱書きでどんどん書き込んでいくといい。
- \*11月の次回の会議には?
- \*その経過を報告するのでどうでしょうか。
- \*諾。
- .....